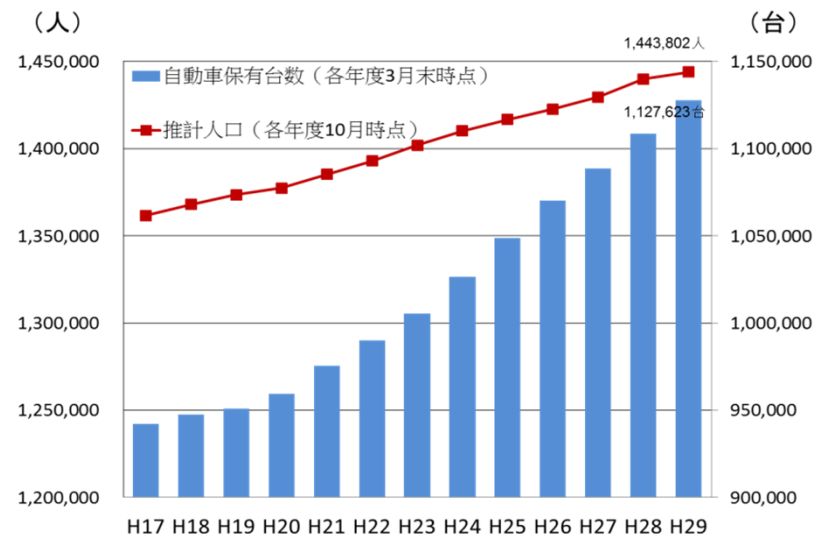


背景ならびに 本日の会議の内容

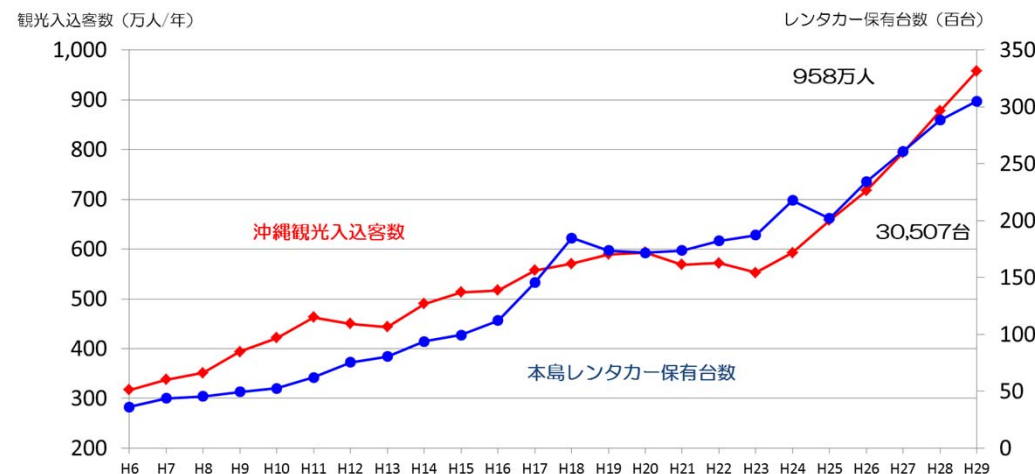
沖縄における道路交通の現況

- 人口・自動車数の増加にともない、中南部圏域の交通容量が不足しているため慢性的な交通渋滞が発生。
- 観光客も含め、県民の足は自動車に依存しており、道路ネットワーク整備とソフト対策が急務。

1. 沖縄県の人口増加に伴い、自動車保有台数も増加



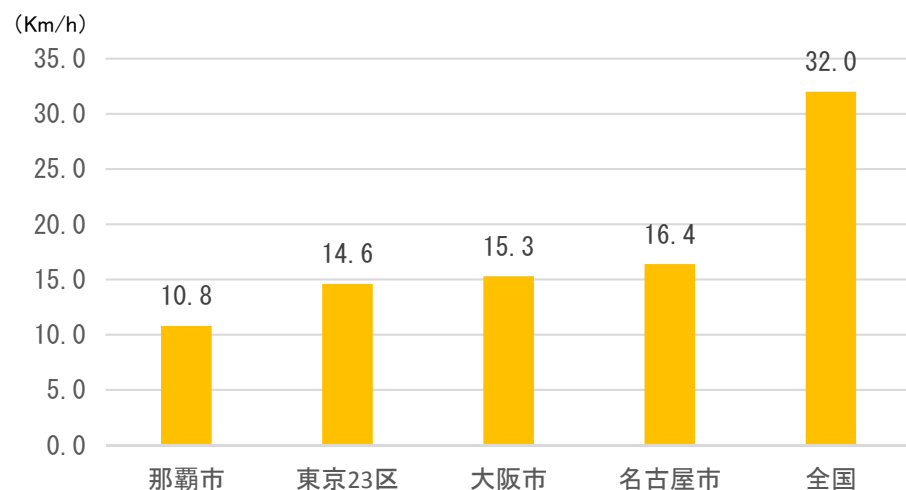
2. 観光客の移動手段はレンタカー



【県外観光入込客数とレンタカー保有台数の推移】

出典：平成30年度入域観光客統計概況（沖縄県）、H30年度版 運輸要覧・業務概況（沖縄総合事務局）

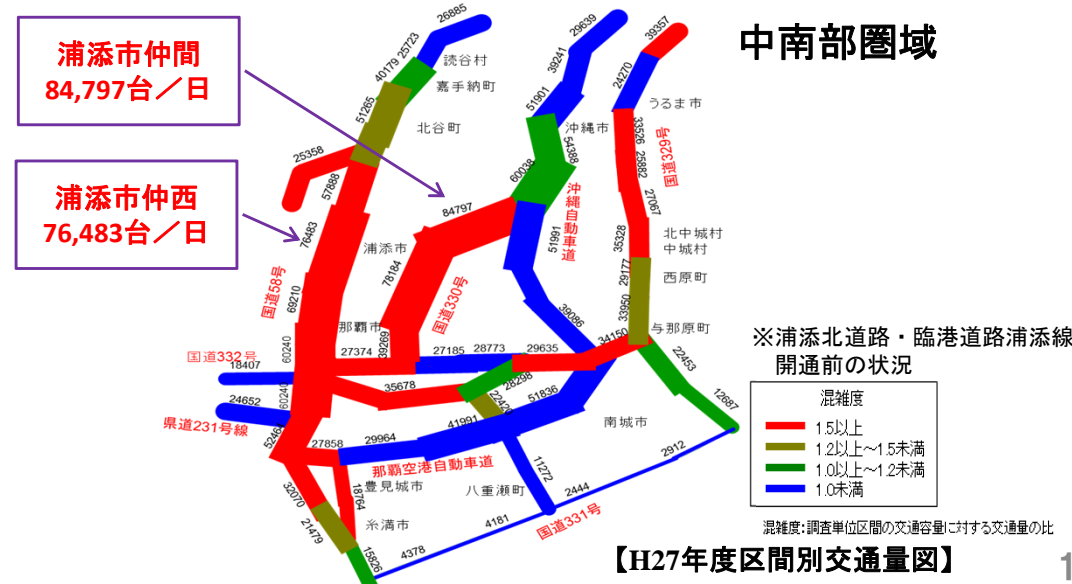
3. 那覇市内の速度は全国ワーストクラス



【平成27年度混雑時旅行速度 比較】

（データ：H27全国道路・街路交通情勢調査）

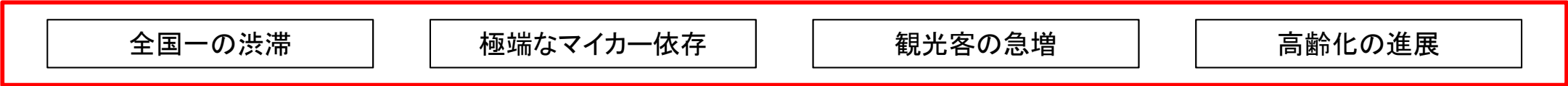
4. 中南部圏域の主要幹線は容量オーバー



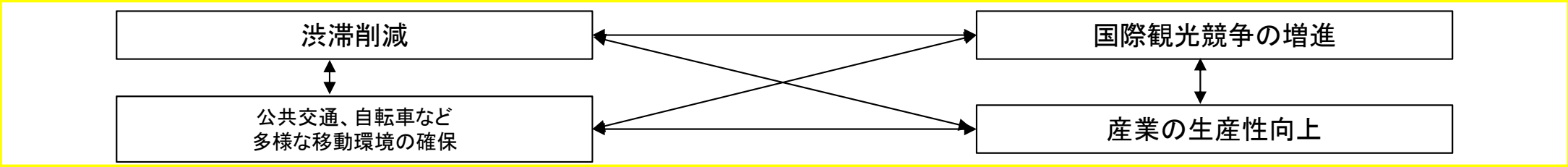
中間とりまとめの概要

(2017年10月17日第1回、2017年11月4日第2回、2017年11月28日中間とりまとめ)

【検討の背景】



【目指すべき方向性】



【取り組むべき施策(主な対策例)】

道路ネットワーク整備等

- 1) ハシゴ道路ネットワーク等、幹線道路網の整備
- 2) 渋滞ボトルネック箇所における交差点改良及び立体化
- 3) インターチェンジの整備推進

地域の公共交通システムの再編・活性化

- 1) 公共交通の整備・再編(都市モノレールの効率化、**基幹バス(BRT等)の導入、バス網の再編**)
- 2) 交通結節点の整備(異なる交通モード間の接続[モダルコネクト]の強化)
各地域の結節点の創出に向けた戦略的展開(**てだこ浦西駅P&R、旭橋BT**)
- 3) 歩行者や自転車などにも優しい道路空間の再編・創出(国際通り再編、自転車利用の促進)

公共交通の使いやすさの向上

- 1) 使いやすさの向上に向けた情報提供システム等の整備
- 2) ICカード等を活用した公共交通利用促進策
- 3) 観光客の公共交通活用対策(結節点の有効活用、**分かりやすい情報提供、ビッグデータやIoT活用など最先端の取り組み、クルーズ船の観光客受け入れ体制の整備**)
- 4) 賢い道路の利用(県民意識への効果的な働きかけ)

所属	氏名	所属	氏名
沖縄県経営者協会会長	安里 昌利	(公社)沖縄県トラック協会 会長	佐次田 朗
株式会社新垣通商 常務取締役	新垣 美佳	那覇市長	城間 幹子
琉球大学工学部部長	有住 康則	沖縄県中小企業家同友会 代表理事	新城 恵子
沖縄県副知事	浦崎 唯昭	旭橋都市開発株式会社 代表取締役社長	平良 敏昭
沖縄科学技術大学院大学(OIST)教授	北野 宏明	日本旅行業協会(JATA)理事	東 良和

ロードマップ策定経緯／目的

- 全国県庁所在地中で最も深刻と言われる沖縄の渋滞を解消するため、「沖縄の道路渋滞対策と新たな交通環境を考える有識者懇談会」の中間とりまとめにおいて、**交通渋滞の削減に向けた62プロジェクトを提言**(H28.11.28)
- 取組を推進するため「沖縄の新たな交通環境創造会議」を設置。
- 会議の議論を経て、沖縄局において62プロジェクトについて関係機関で取組内容とスケジュールを共有できるよう**ロードマップを策定**(概ね3年間の対策スケジュールの設定)するとともに、早期の効果発現が期待される**6つの早期成果実現課題を選定**(H29.5.11)

沖縄の道路渋滞対策と新たな交通環境を考える有識者懇談会
「沖縄の新たな交通環境の創造に向けて(中間とりまとめ)」(H28.11.28)
・交通渋滞の削減に向けた62プロジェクトについて提言

第1回 沖縄の新たな交通環境創造会議
・33主要プロジェクト(18テーマ)の選定
・ロードマップを作成することを会議で確認

第2回 沖縄の新たな交通環境創造会議
・主要プロジェクトのうち、早期成果実現課題(6テーマ)を選定
・平成29年度の新たな取り組みについて
・「早期成果実現課題」の具体案を提示

第3回 沖縄の新たな交通環境創造会議
・早期成果実現課題のH29取組内容、H30取組予定について
・その他施策のH29取組内容、H30取組予定について

本日の内容

第4回 沖縄の新たな交通環境創造会議
・早期成果実現課題のH30取組内容、R1取組予定について
・その他施策のH30取組内容、R1取組予定について

6つの早期成果実現課題

渋滞ボトルネック対策

- 主要渋滞ポイントの交通状況、周辺の用地について調査し、短期で対策できる交差点を抽出し、対策を実施、検討(45箇所(国道14、県道31))

R1予定:
◆18箇所の対策を実施
◆検討中の箇所の早期の事業化に向けた検討



交通の流れが改善し渋滞が解消

対策後

基幹バスの導入、バス網再編

- H31年度の基幹バス導入を目指し、急行バス実験、バス網再編に向けた検討を実施
- 自動走行技術などを活用した沖縄次世代都市交通システム(Okinawa-ART)にむけた取り組みも実施

R1予定:
◆10月を目途に那覇BT〜コザ間で基幹急行バスを運行
◆ハイグレードバス停の整備及び効果検証

沖縄次世代都市交通システム(Okinawa-ART)のイメージ



乗客待機環境、乗降安全性向上
・ノンストップ化
・自動走行(正寄)技術 ※
・ICカード(QUICA) ※

安全性・快適性向上
・高度運転支援 ※
・乗降子等迷惑防止制御 ※
・最速加速制御、衝突回避制御 ※

次世代都市交通システムのイメージ

待合空間のユニバーサル化
・ハイグレードバス停
・情報発信(運行情報)

トータルデザイン
・R1性の高い先進技術の導入
→ 暮らしデザインメッセージ
→ まちづくりと一体となったシステムデザイン

交通性、定時運行性の向上
・基幹バス
・バス専用、優先レーン
・PTPの高高度化 ※
・基幹+支線バス、モーター等のゲームプラン(乗客)最適化

運行の効率化
・バス網再編(基幹、支線)

観光客への対応
・多言語化
・観光情報発信
・全国局に対応

※は自動運転技術関連

バス運行定時性の確保

- 基幹バス区間の定時・速達性を高めるため、全区間(久茂地〜コザ)にバスレーン延長拡充を実施
- H30〜H31年度に第2段階バスレーン延長、H33年度以降に第3段階バスレーン延長に向けた取組みを実施

R1予定:
◆バスレーン延長の効果検証を実施



第2段階
(久茂地〜伊佐)
・バスレーン延長(夕方)
・専用時間以外の優先レーン化
(伊佐〜コザ)
・朝夕優先レーン化

第3段階
(久茂地〜伊佐)
・終日専用レーン化
(伊佐〜コザ)
・終日優先or専用レーン化

バスターミナル等の整備促進

- 異なる交通モード間の乗り継ぎ、基幹バス及び支線バスの乗り継ぎに必要となる交通結節点の整備
- モノレール延長区間でたご浦西駅では、追加IO整備、P&R等、多様な交通モードの乗り継ぎが可能となる交通結節点を整備

R1予定:
◆たご浦西駅における交通広場及びP&R駐車場等の整備



たご浦西駅 P&R駐車場

▲たご浦西駅整備イメージ

道路空間の再編(国際通り)

- 国際通りは過度な自家用車依存から脱却を図るためのシンボリックな道路空間として、歩行者や自転車などにも優しい道路空間の再編
- 創出に向けた検討を実施

R1予定:
◆荷捌き車両対策実験の実施計画策定



荷捌き車両の影響によるバス走行の阻害
バス後方部の渋滞が発生 荷捌き車両の停車

県民意識への効果的な働きかけ

- 沖縄県において、毎月1日、20日をノーマイカーデーに設定
- 那覇市において、9月16日から9月22日までをカーフリーデーの期間として設定

R1予定:
◆わった〜バス党の取組として、引き続き広報等の啓発活動を実施。また、わった〜バス大実験は、期間・規模を拡大し実施



わった〜バス大実験

H30年度は3団体を表彰!